

# Radixの会 2000年度決算報告

## Radix

平成13年5月15日  
Radixの会 事務局長 竹内 周  
自 平成12年3月1日  
至 平成13年2月28日

2000年度の当会の収支は、収支計算書のとおり、以下のように決算しました。また、年度末日、平成13年2月28日時点での当会の財産状況は、財産目録のとおり、以下のように決算しましたので、ご報告します。

### 【収支報告】

#### 1. 収入の部

本年度の収入(当期収入合計)は、会員会費収入、特別会員会費収入、及び受取利息を合わせ、合計で57,040,933円となりました。これに前年度からの繰越金(前期繰越収入)48,173,461円を加えた収入合計は105,214,394円となりました。

#### 2. 支出の部

本年度の支出は、事業活動費の支出として43,230,768円、運営経費の支出として18,669,925円となりました。これに事業外支出(前期損益修正損)2,460,506円を加えた当期支出合計は64,361,199円となりました。

#### 3. 当期収支差額

収入合計より当期支出合計を差し引いた当期支出合計は、40,853,195円となり、当期より次年度(2001年度)への繰越金(次年度繰越収支差額)は、40,853,195円となりました。

### 【財産報告】

#### 1. 資産の部

当会は、現金、普通預金、未収入金を合わせた流動資産として、42,505,725円、固定資産0円、資産の部合計で42,505,725円を保有しています。

#### 2. 負債の部

当会は、未払金、前受金を合わせた流動負債として、1,652,530円、固定負債0円、負債の部合計で1,652,530円を保有しています。

#### 3. 正味財産

資産合計より負債合計を差し引いた当会の正味財産は、40,853,195円となっています。

### 2000年度予算実績報告

2000年度の当会の予算実績結果について、以下のとおり報告します

#### 【総括】

当期は、上半期で約15,000千円、下半期で約47,000千円と、前半後半を比較した場合、後半に飛躍的な活動の活性化が図られました。

専門部会では、予算の達成には及ばぬものの、小祝塾、技術集會等の主催と参加、北海道集會の開催、堆肥作り試験の実施など農産部会を中心とした

活動や、畜産部会発足、新年度の食品・流通各部会の発足など各分野での活動の萌芽が見られました。これらを礎とし、さらなる飛躍を進めます。

事務局運営では、会計について、当期8月をもってらでいっしゅぼーや(株)との会計上の精算(これまででいっしゅぼーや(株)に預かって頂いていた会員会費)を行ない、併せて会費徴収代行契約を取り交わしたうえ、監査役の多大なご協力により月次の会計監査を実施し、明朗かつ公正な資金管理を行なえるようになりました。

規約の改正、規程の成案、会報の発行など、運営の仕組みについても一定の進歩がありました。

会員管理については、会費の徴収方法の再検討や、会員の参加意識の醸成など、まだ至らぬ点がありますが、当期の反省点を踏まえ、改善を進めていく所存です。

#### 【収入の部】

9月に徴収を開始した本年度の固定会費と、本年度新入会員の固定会費が、未収となったため、本年度の収入は、予算60,002千円に対し、実績57,051千円と、差し引き2,951千円の未達となりました。

①新規会員については、事務局での対応の遅れもあり、本年度は継続して支払いをお願いし回収していきます。

②継続会員の未収については、らでいっしゅぼーやへの毎月の請求金額が法人で5万円に満たない、従って販売高の低い会員と、季節商品(3月～8月)のみの取り扱いで、2000年度の固定会費はこの間徴収していない)を取り扱う会員。前者は構造的な課題として今後徴収の方向性を定めてゆくべきと考えます。後者は会側の努力不足でもあるが、継続して回収にあたります。

### 非営利の人格なき社団

監査役 寺崎 克雅 (らでいっしゅぼーや(株)経理部長)



昨年4月の着任以来、会計を中心に監査してきましたが、当初こそ指摘することは数点あったものの、徐々にあらゆる点で整備されてきたと言えます。指摘事項も2ヶ月後には間違いなく訂正される傾向にあります。

これまでの経緯についても整理し、団体としてのあるべき姿を模索し、積極的に税務署にも相談に出向き、第三者に対する現状の体制を明確にしました。消費税も対象であることを確認し、平成13年3月からの期を対象に納付することと致しました。また、当会は非営利で

あり法人税の課税対象にならない旨、税務署指導員の確認も得ました。これによりRadixの会は(税法上)1999(平成11)年8月の現体制の第1回役員会をもって発足したことになりました。その発足以来役員会を中心に会員の皆様に役立つよう会費は使われております。

今後は年次計画の実行は勿論、当会の方向性等本質的なことを討議されることを望みます。